

## 令和4年度 第5回米子市地域公共交通会議 議事録

1 開催日時 令和5年2月7日(火) 午後3時から

2 開催場所 米子市役所本庁舎4階 401会議室

3 出席者(敬称略)

委員：加藤委員、竹本委員、奥田委員、濱邊委員、竹上委員、建部委員、  
野間委員、植弘委員代理、額委員、遠藤委員、舩越委員、柏木委員、  
野坂委員、塚田委員、川本委員

事務局：八幡総合政策部長、倉本交通政策課長、山根課長補佐、石上係長、藤原係長、  
宮前主任

4 日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 米子市淀江町巡回バス「どんぐりコロコロ」のルート変更等について

(2) 米子市循環バス「だんだんバス」の特別運賃について

(3) 米子市循環バス「だんだんバス」歴史コース及びまちなかコースの実証運行期間  
の延長について

(4) 地域公共交通計画の素案について

(5) 地域公共交通調査等事業の事業評価について

(6) その他

4 その他

5 閉 会

5 議事録概要

(会長)

日程3協議事項(1)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～米子市淀江町巡回バス「どんぐりコロコロ」のルート変更等について説明～

(会長)

ありがとうございました。みなさまから何かご意見・ご質問ありますか。

(委員)

ルート変更の理由として地域住民の方の福祉の向上に寄与するとありますが、変更に至

った背景を教えてください。

(事務局)

背景としては、地域の方からルート変更について声があったことと、米子市としても淀江町内の主要温浴施設である「湧くわく天然温泉ラピスパ」にバス停を設けることで、よりバスの利便性が増すと判断したことがあります。

(会長)

ありがとうございました。ちなみに、利用目標といったものは何かありますか。

(事務局)

具体的な目標を数値で設定する予定は現在のところありませんが、利用促進のために、温浴施設とタイアップし、どんぐりコロコロを利用して来られた方へ特典を設けるといったことは検討しています。

(会長)

施設と連携を図っていただいて、利用促進を図ってもらえたらと思います。施設側にもメリットがあるものが展開できればと思います。

それでは、他に何かございますか。

(委員)

隣接した場所に、新しく保育園ができましたが、こちらの利用者、園児の送迎に公共交通機関が使えるれば、なお良いと思います。送迎に利用できるようなダイヤは考えましたでしょうか。

(事務局)

隣に保育園ができたことは承知していて、送迎まで含めたダイヤは検討しましたが、現在のダイヤが大幅に変わってしまうことがあり、今回のダイヤ改正ではラピスパの利用者に焦点を当てたものとさせていただきました。

(委員)

できるだけ活用できるような取組を今後考えていくことが必要だと思います。

(事務局)

まず、実態としてどうやって保育園に行くかという問題があります。それも考慮して今回はこのようなダイヤを設定しました。ただ、今後バスでの送迎の需要があるということでは

たら、その際は柔軟に対応したいと思います。

(会長)

ありがとうございました。

みなさまの承認を得て、事務手続きを進めていきたいと思います。みなさまいかがですか。

(全員承認)

(会長)

承認いただきありがとうございました。

続きまして、日程3協議事項(2)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

～米子市循環バス「だんだんバス」の特別運賃について説明～

(会長)

説明ありがとうございました。例年実施している案件ですが、令和5年度についてもみなさまの承認を得て、進めていこうというものです。

それでは、何かご意見・ご質問ありますか。

ちなみに、昨年度の実績数値が書いてありますが、今までの推移としてはどうなのですか。

(事務局)

昨年度に関しては実証運行を開始しているため、それ以前との単純な比較は困難ですが、実数としては特にこどもの日の小児利用者数などは増えています。

(会長)

好評をいただいているようですので、周知を図った上で多くの方に利用していただけるようにお願いします。

みなさまの承認を得て、手続きを進めていきたいと思います。みなさまいかがですか。

(全員承認)

(会長)

承認いただきありがとうございました。

続きまして、日程3協議事項(3)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

～米子市循環バス「だんだんバス」歴史コース及びまちなかコースの実証運行期間の延長について説明～

(会長)

説明ありがとうございました。実証運行中の歴史コース及びまちなかコースは前回の米子市地域公共交通会議での承認を得まして、一部ルートの変更を令和4年12月から実施しているところです。その実証運行の期間を延長しようというものですが、みなさまから何かご意見・ご質問ありますか。

(委員)

昨年12月に一部ルートの変更をして、乗降者数は増えてきているということですが、歴史コースとまちなかコースで、特にどちらのコースが増えているのですとか、どの停留所の乗降が多かったのかといった情報があれば、教えてください。

(会長)

詳しいデータがあれば、紹介いただけたらと思います。

(委員)

資料はコース変更前の12ヵ月間の平均利用者数878人と、一部ルート変更後の令和4年12月の利用者数1,342人とを比較していますが、比較するなら一年前の令和3年12月と比べるべきと考えます。

(会長)

データを示していただきたいと思います。

(事務局)

歴史コースとまちなかコースは連続して運行しているため、コース毎の利用者数は把握していません。停留所に関しては、一部ルート変更前の実証運行12ヵ月間の実績によれば、米子駅と大学病院の間、米子駅と高島屋前の間などが多くなっています。

次にお尋ねの令和3年12月の利用者数は887人でした。前年同月比で1.5倍程度の利用者数となっています。

(会長)

コロナ以前との比較とか、コロナの影響による利用者数の変化はどのようにお考えですか。

(事務局)

一昨年に実証運行を始めた時点で、コロナの影響は多分に受けていたと思います。実証運行区間については、それ以前の数字はありませんので、比較は難しいですが、昨年についてもコロナの影響は受けていたと思います。

(会長)

ありがとうございます。それ以外はいかがですか。

(委員)

だんだんバスのだんだんコースですけど、反対周りというのは考えられたことはありますか。例えば義方地区から医大に行く場合、ぐるっとだんだんバスに乗って行かないといけないので、すごく不便です。今は私は歩けるので、まだいいですが、今後歩くのが難しくなったときに不便です。いかがですか。

(事務局)

実証運行コースの開始にあたり、だんだんコースの逆回りも検討いたしましたが、2箇所ネックがあり、天満屋と医大の中です。道路の構造上、逆周りとする事で所要時間が増え、現在一周1時間で循環しているバスがそれ以上に長い時間で運行するのは考えにくいものでした。そこで特に要望が多かった医大と高島屋間、医大と米子駅間などの時間短縮を図るため、実証運行をしているところです。

(委員)

完全に納得はできませんが、経緯は分かりました。

(会長)

従来のだんだんコースで救えないところを今回の実証運行で設定したということでした。そのほかいかがですか。実証運行の後は本格運行に向けていろいろ検証されると思いますが、本当にあと1年間延長する必要があるのか、若干長いような気はしますが、いかがですか。

(事務局)

おっしゃるように、状況を見て、短くできるようであれば当然1年を待たずに本格運行ということも考えていますので、また検討したいと思います。

(会長)

ありがとうございました。

これまでの実証運行のデータなどをお示しいただきながら、検討を深めていただけたら  
なと思います。

米子市民の方が利用されているのか、観光客の方が利用されているのか、リピーターの方で  
すとか、色々利用者層も知りたいと思いますので、実証運行から本格運行に移行する際には  
そういったことも情報提供していただけたらと思います。

そうしますと、みなさまの方から他にご意見・ご質問ありますか。

(委員)

実証運行をやるにあたっての目標といますか、ここまで達成したら本格運行に移行し  
ようですか、そういったものがあれば教えてください。

(事務局)

具体的な目標というのは難しいですが、課題が出てこなければ本格運行につなげていき  
たいと考えています。それと一点、本格運行をするにあたり、新車両の購入を検討していま  
すが、その納期が昨今の社会情勢を受けて不透明なところにして、それも含めて本格運行の  
時期は判断したいと思っています。

(会長)

本格運行の際には、新車両を入れて本格運行したいので、逆に車両が届くのが本格運行の  
タイミングなのかもしれないという気がしました。

そうしますと、実証運行期間をもう1年延長することについて、みなさまの承認を得たい  
と思います。いかがですか。

(全員承認)

(会長)

承認ありがとうございました。

そうしますと、日程3協議事項(4)、(5)については関連しますので、一括して事務局  
から説明をお願いします。

(事務局)

～地域公共交通計画の素案及び地域公共交通調査等事業の事業評価について説明～

(会長)

ありがとうございました。現在策定中の地域公共交通計画の素案について説明がありま  
した。また、地域公共交通調査等事業についても計画通り実施したと自己評価があり、国に

提出するとのことでした。

地域公共交通計画の素案について、スケジュールの説明があったように、パブリックコメントや最終案の検討があったのち、もう一度みなさまへ計画をお示しし、策定するものです。

そうしますと、説明のあった協議事項（４）（５）について、みなさまからご意見やご質問をいただければと思います。

（委員）

５ページで、「公共交通乗って ecoh! 県民運動」とありますが、JR としても協力・支援していければと考えています。

また、８ページ「広域連携による公共交通の活性化」ですが、キャッシュレス決済の話がありました。バス ICOCA の通常型の写真が出ていますが、安価な簡易型のものもありますので、お手伝いできることがあればと考えています。

11 ページの「公共交通利用者に分かりやすい情報提供」ですが、弊社アプリの WESTER は MaaS アプリでして、ルート検索や乗車券の購入ができるシステムです。鉄道だけでなく、路線バスの検索もできますし、だんだんバスや淀江町のどんぐりコロコロバスも検索できるようになる予定です。

最後に 14 ページですが、弊社でもデマンドバスであったり、予約システムといったことでもお手伝いができると思いますので、よろしくをお願いします。

（会長）

ありがとうございました。地域公共交通計画に対して JR 西日本としても支援等ができるというお話でした。事務局から何か発言ありますか。

（事務局）

キャッシュレス決済について、米子市は現時点では研究段階ですが、JR 西日本の ICOCA であったり、JR 九州が VISA タッチの実証実験を行っているとの話もありますので参考にさせていただきたいと思います。

ただ、基本的には米子市単独ではなく、全県で統一した対応というのが良いのではないかと考えています。鳥取県と一緒に調査研究を進めていけたらと思います。

（会長）

８ページにあります「鳥取県 MaaS エコシステム共創コンソーシアム」などの枠組みでキャッシュレス決済についてご検討いただけたらと思います。その他ご意見ございますか。

当日配布資料の推進施策の柱の中で、「多様な移動ニーズへの対応」を追加された背景や考え方を補足いただけますか。

(事務局)

17ページにありますように、公共交通での移動が困難な方への対応ということで、市議会でもご意見をいただいているところですが、既存の鉄道やバスだけではカバーしきれないのが現状です。高齢化も進んで行きますので、問題意識を交通部門だけでなく福祉部門とも共有したいとの意思表示で追加しました。

(会長)

福祉などの様々な部門と連携したいということで理解しました。立地適正化計画などと連携しながらまちづくりを進めていくということですが、米子市のキーワードになっている「ウォーカブルシティ」との連携も取られていくということによろしいですか。

(事務局)

今年度、「歩いて楽しいまちづくり」は、市長の重点課題として全面的に打ち出していますが、以前から「まちづくりビジョン」にも書いているとおり、公共交通を活用したまちづくりを進めてきました。「歩いて楽しいまちづくり」の裏を返せば、車ではなく、公共交通を利用して生活するというのが考え方の根底にあります。

米子駅南北自由通路が今年供用開始となることにあわせて、駅前や角盤町の通りがウォーカブルとして歩道や空間を整備する事業に着手しています。

車社会からの完璧な脱却は不可能で、いかに車と公共交通のベストミックスを探っていくかだと思います。まずは既存の公共交通をベースに、歩いて楽しむというコンセプトで取組を進めていきたいと思います。

立地適正化計画の策定等についても、歩いて暮らせる、歩いて楽しい米子市にしたいという理念のもとに、進めていきたいと思います。

また、多様な移動ニーズについてですが、少し病院に行きたいときなどに、1時間に1本程度のバスではなかなかそういった需要に対応できません。一方、市内でも県(あがた)地区など一部地域ではボランティア輸送などの手段も出てきています。全てバスやJRで対応するのは不可能ですので、地元のみなさまのご協力をいただいた上であらゆる移動のニーズへの対応を検討していきたいと考えています。

(会長)

ありがとうございました。その他いかがですか。

(委員)

キャッシュレス決済の件ですが、鳥取県でも東部地域で自治体や交通事業者とキャッシュレスの検討推進の話が出ています。米子市でも、事業者や関係者の方々の意見を聞きながら、一緒になって検討を進めていきたいと思います。

続いて地域公共交通計画の素案についてですが、数値目標の中で、コミュニティバスの負担額はコロナ前や現状と比較しても増えています。これは路線再編の方向性の中で人口集積地域や中心市街地以外は結節点を介して末端をフィーダー化（コミュニティバス化）とあるので、当然負担額は増えると思います。一方、中心市街地については、路線バスを充実させつつとは書いてありますが、路線再編により市の路線バス運行費補助負担は減るとも考えられます。その中で路線バス運行費補助金の数値目標はコロナ前の数値とほぼ同額としているのは、何か理由がありますか。

（事務局）

数値目標については難しいところではありますが、この路線に手を加えるというところまでは具体的にないないので、充実させる路線もあれば、コミュニティバス化によって補助金負担がなくなるところもあるので、結果的に相殺される程度になるという考えです。

（会長）

今後5年間でコミュニティバスの2路線の導入を目標にするということですが、負担額のイメージはだんだんバスの歴史コースやまちなかコースのものを想定していますか。

（事務局）

負担額については淀江町のどんぐりコロコロを参考に目標を設定しました。

（委員）

21ページで、達成状況の評価の進め方とありますが、PDCAサイクルについて協議会の場で確認する予定であるのか、またスケジュールについては具体的なイメージはありますか。

（事務局）

市議会で説明するほか、こちらの公共交通会議の場でもみなさまのご意見をいただく予定です。スケジュールについては、コロナ等の社会情勢もありますので、修正が必要となる場合は適宜みなさまに説明したいと思います。

（会長）

個別施策について、例えばこれは何年度に実施するとか、そういったことについてはまた検討してもらえたらと思います。

他にご意見はありますか。パブリックコメントも本日から始まっているということですので、またみなさん気付かれたことがあればそちらでも述べてもらえたらと思います。

それでは私から1つ質問させてください。計画の数値目標について、だんだんバスの年間利用者数はコロナ前の数値とほぼ同値を設定してありますが、コロナ前と比べて歴史コースやまち

なかコースが増えていること、それからウォーカーブルや歩いて楽しいまちづくりの施策が進んでいることを加味すると、もう少し多くても良い気はしますが、いかがでしょうか。

(事務局)

数値目標については再度検討したいと思います。

(会長)

米子駅の1日あたりの平均乗車人数も南北自由通路開通のことがあるので、併せてもう少し検討してもらえたらと思います。

また、ご意見等ありましたら交通政策課まで申し出てもらえたらと思います。

そうしますと、素案と、国に提出する自己評価について、みなさまの承認を得たいと思います。いかがですか。

(全員承認)

(会長)

承認ありがとうございました。

今日出ました意見も、反映できるものは反映していただいて、スケジュールに沿って進めてもらえたらと思います。

そうしますと協議事項(6)その他について、事務局から何かありますか。

(事務局)

前回12月に書面で実施しました令和4年度第4回米子市地域公共交通会議で、委員の方から意見がありましたので、回答します。

「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価」について、ご審議いただきましたが、その中で大山線及び福万線が目標を達成できなかった原因や具体の改善策についてのお尋ねでした。

まず、原因については一概にこれだと分析するのは困難ではありますが、新型コロナウイルスのまん延以外の原因としては、沿線地域の更なる高齢化の進行や自家用車での移動の定着、工事に伴うバス路線の迂回の長期化、ダイヤの利便性の問題などが考えられます。

次に具体の改善策としましては、沿線地域の住民の方へ回覧等による広報を考えています。大山線や福万線の利用状況を数値でお示しし、みなさまの乗車によって路線の維持につながるといったような内容で利用の促進を図り、少しでも利用者の増加につながればと考えています。

(会長)

ありがとうございました。前回の書面での公共交通会議で大山線と福万線のフィーダー系統の自己評価について承認していただきましたが、その中でご質問があったことに対する回答で

した。コロナ以外の要因で目標は達成できなかったのはなぜですかということについて事務局から回答していただきました。

その他に委員のみなさまから何かありますか。

(委員)

前回の書面での公共交通会議で、自己評価についてC評価からB評価にしても良いのではないか、という意見が出ましたが、それはその後どうなりましたか。

(事務局)

いただいた意見を基に再検討し、目標数値は未達成であったものの、当初掲げた取組事項は実施していることから、B評価として国に提出いたしました。

(会長)

ありがとうございました。再検討の結果、B評価として提出したとのことでした。

利用状況が思わしくなかったことの解決策として、回覧等を用いた広報を考えているとのことでした。

その他ありますか。日程4その他に移ります。事務局から何かありますか。

(事務局)

最後に報告です。計画の12ページを御覧ください。今年度新たな取組みで、公共交通イベントの開催ということで、「よなご公共交通ふれあいフェスタ」という米子市で初めてとなる交通系のイベントを12月20日に開催しました。一回目なので、どの程度のお客様に来ていただけるか不安はありましたが、蓋を空けましたら4,000人を超える方々に来ていただきました。当日はJR様をはじめ、バス事業者のみなさま等ご協力いただきまして、成功することができました。来られた方へのアンケートも満足度が高く、いただいた意見は来年以降につなげていきたいと思えます。本当にご協力いただき、ありがとうございました。

(会長)

ありがとうございました。ちなみに、当日公共交通を使って来場された方の人数等が分かれば教えてください。

(事務局)

手持ちの資料で具体的な数字はありませんが、当日公共交通で来られた方には割引チケットを配りましたので、ある程度みなさん公共交通を使って来ていただけたという印象です。

(会長)

来場手段ですとか、公共交通を利用していただいた方の追跡調査などができれば、イベントがさらに膨らんでくるのかなと思いますので、またよろしくお願いします。

その他委員のみなさまから何かありますか。

(委員)

公共交通計画の中の数値について、令和2年度とかではなく、最新の数字にしてもらいたいと思います。

(会長)

資料中の数値は最新のデータを入れてもらいたい、という話でした。

その他に何かありますか。

(委員)

今日の話については、商工会議所の中でも共有させていただきたいと思います。何か意見がありましたら、またこちらの場でお伝えしたいと思います。

(会長)

その他はよろしいですか。

そうしますと、本日の協議事項等は全て終了しました。みなさまご協力いただき、ありがとうございました。